

5 障害のある子どもや外国人の子どもなどの読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
97	読書活動	保育や教育の場で子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせや子どもと本をつなぐ取り組みを行う。	継続				紙芝居や絵本、布絵本を活用しベッドサイド学習の生徒に対して読み聞かせを行っている。布絵本の手触りや、声の調子、絵に目を引かれて、集中してよく聞いている。	刀根山養護学校
	読書活動	保育や教育の場で子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせや子どもと本をつなぐ取り組みを行う。	継続				保育室や待合室に子どもが自由に手に取ることができるように絵本棚を設置。ひとりの子どもの選んだ本をクラスで読み聞かせを繰り返すうち、クラス全体でも好きな本になり、そこから遊びに発展することも多い。保護者にクラス懇談会や月のおたより等で、そのような子どもの姿を紹介しながら、絵本やおはなが子ども同士をつないでいるということを伝えている。今後も続けていきたい。	しいの実学園
	読書活動	保育や教育の場で子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせや子どもと本をつなぐ取り組みを行う。	継続				図書館で借りた絵本、紙芝居などは、設定保育の導入、次の保育の合間や給食準備までの時間に読み聞かせたりして利用している。自由時間等には子どもが自分で選べるよう絵本箱を置き、子どもが選んだ本を保育士も一緒になって見ることで子どもと向き合う場にしてる。今後も続けていき子どもと絵本とがつながられるよう繰り返し積み重ねていく。	あゆみ学園
98	「おやこでにほんご」	地域に暮らす外国人親子が安心して参加することができる親子参加型日本語教室を図書館で継続して行う。	継続			おかまち・おやこでにほんご年40回外国人大人161人子ども96人、ボランティア大人285人子ども113人 おやこでにほんご年32回外国人大人104人子ども52人、ボランティア大人182人子ども71人(のべ人数)	毎週火曜日10時から外国人親子のための居場所づくりを行っている。毎回数組の外国人親子が参加し、子育ての情報交換や日本語にふれたり、絵本のよみかせを行っている。また、外国人親子による母語の絵本のよみかせを行い、子どもたちが母語に触れる機会を提供している。しかし、まだ母語継承の大切さを認識するまでには至っていない。外国人親子だけでなく日本社会へも外国人親子の母語保持の重要性を発信し、地域に住む外国人親子がより広く参加できるようPRしていきたい。今後は図書館で行っている活動であることを活かしながらその課題解決を進めていく。	おやこでにほんごとよなか国際交流協会市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
99	市立図書館における多文化サービスの充実	外国人市民が図書館を利用するきっかけとなる事業や、地域の多文化共生を推進するための事業を図書館、とよなか国際交流協会、市民団体(地球ママくらぶ等)が連携して行う。	継続		おはなし会の回数 参加人数	4回 151人	『おかまち・おやこでにほんご』の外国人ママたちの母語による「世界のことはおはなし会」を、10月は韓国語、3月はインドネシア語で岡町図書館にて実施。「地域子ども教室 岡町図書館」でも「世界のことはおはなし会 特別編」として、11月に英語、12月に韓国語のおはなし会を実施。参加者には外国語の美しい響きや文化を絵本や手遊びなどで感じ取ってもらえる場になっている。また2月には、庄内図書館において開催された協働事業「しょうないREK」による「多文化フェスティバル」の一環として「エスニックサロン」を開催。外国の飲み物や手作りのお菓子などを販売し好評であった。外国人ママたちの協力で地域の人びとに多様な文化に触れてもらうきっかけ作りができ、外国人ママたちにとっても自分の力を発揮して地域の催しに主体的に参加できる場に徐々になっている。しかし、まださまざまな理由から本にアクセスしづらい環境に置かれていたり、本の楽しさや大切さを知る機会のなかった外国人が存在する。今後は外国人市民から各国の図書館の利用状況や、読書活動についての聞き取りなどにより、現状と課題を把握し、多文化サービス充実の具体的な方法を検討する。	市立図書館 市民団体(地球ママくらぶなど) とよなか国際交流協会
100	「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。(58、83、135にも掲載しています。)	継続		おはなし会の回数 参加人数	4ヶ所で5回開催、 参加人数は227人	養護学校2ヶ所(3回開催)、通園施設2ヶ所にておはなし会を行った。どの施設も継続して事業を実施しているので、おはなしグループの方とコーディネート役の図書館、学校や施設の先生や保護者、子どもたちとも信頼関係ができつつある。	市立図書館 豊中おはなしの会
101	子ども文庫での活動	子ども文庫が地域の中で本に出会える場であるということやPRし、障害のある子どもや外国人の子どもも絵本やおはなしを楽しめる場となるよう、図書館やとよなか国際交流協会などと連携して活動する。	新規				「子どもと本のまつり」のおはなし会に「おかまち・おやこでにほんご」の外国人ママたちが読み手として参加し、それぞれの母語と日本語による読み聞かせを行い、交流とPRが出来た。来年度も継続して行い、文化への相互理解や外国人親子の母語継承に繋がるように、連携とPRをしていきたい。	豊中子ども文庫連絡会 市立図書館 とよなか国際交流協会
102	絵本講座の開催	保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みを行う。	新規				過去に保護者に絵本の楽しさや大切さを伝える講座「子育てに絵本の楽しさを」を実施した実績があるが今年度は未実施。また各通園施設や学校ではおはなし指導者派遣事業によるおはなし会を通じて、保護者の方に絵本の楽しさをお伝えする機会となっている。	市立図書館
103	保護者への図書館利用の案内	障害のある子どもの保護者や障害のある保護者が子どもと一緒に図書館を利用しやすいように、利用の方法など図書館のサービスについて詳しく案内し、同時に保護者の声を聞く機会を定期的に持つ。	新規				平成19年度に保護者会と連携するなどして図書館見学会を実施予定。見学会では利用の方法やサービスの内容について保護者の方に案内し、保護者自身が図書館を身近なもの、気軽に利用できるものという意識をもってもらうきっかけとする。	市立図書館 通園施設

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
104	図書館見学会	通園施設や養護学校の子どもと保護者に対して図書館見学会を行う。	新規				平成19年度に保護者会として高川図書館見学会を実施予定。見学会では利用の方法やサービスの内容について保護者の方に案内し、保護者自身が図書館を身近なもの、気軽に利用できるものという意識をもってもらっきっかけとする。	しいの実学園
	図書館見学会	通園施設や養護学校の子どもと保護者に対して図書館見学会を行う。	新規				あゆみ学園は野畑図書館の見学について、平成19年度実施予定。保育の一環として親子と職員がともに参加し、親子で絵本に関わることの大切さや図書館が気軽に利用できる場となるきっかけにする。	あゆみ学園
105	図書館見学会	外国人の子どもや保護者、その支援に関わる協力者に対して図書館見学会を行う。	継続		実施回数 参加人数	1回実施 親子7組、ボランティア3人参加	「おかまち・おやこでにほんご」に参加している外国人親子対象に「おやこで図書館見学」を実施。内容は、図書館利用者カードの申し込み、図書館の使い方と各フロア、特に「世界のこどもの本の部屋」への案内。外国人が図書館サービスを利用できるようにしている。これをきっかけに外国人親子たちが図書館を利用することが少しずつ増えている。今後は、見学会参加者から意見やアドバイスを貰い、見学会のやり方(多言語の通訳などをつけるかなど)も改善していく。	市立図書館 とよなか国際交流協会 市民団体(地球ママくらぶなど)
106	動く図書館による施設サービスの充実	動く図書館が通園施設や養護学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ本を貸出する。動く図書館の巡回について、教職員や保護者の意見に対応し、各施設の読書環境の整備を支援する。	継続		動く図書館で巡回している施設数 貸出冊数	養護学校2カ所、通園施設2カ所、7,572冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接、本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。また通園施設において職員と情報交流するなど、読書環境の整備につとめている。課題としては施設の職員や保護者が入れ替わる場合があり、継続的に図書館からの情報提供や利用方法の説明を実施する必要がある。	市立図書館
107	小児科病棟でのおはなし会の実施	市立豊中病院とおはなしボランティア(おはなしたまたまばこ)、市立図書館が連携し、小児科病棟でのおはなし会を行う。	継続		おはなし会の回数	43回	毎週木曜日に2～4人で訪問。第1～3週は絵本・紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター、第4週は手作り。12月には病棟のクリスマスパーティーに参加。ボランティアの人数は約15名だが、全員の所属する団体が1つでないため、交流がはかりにくいのが課題となっている。また平成19年3月にはボランティアと病院の看護師、図書館の職員で情報交換の場をもった。	おはなしたまたまばこ 市立豊中病院 市立図書館
							「おもしろかった」「気分転換になった」等の意見が聞かれた。「こういうボランティアがある事を知らなかった」と感心されることもある。	
108	「図書館バリアフリー宣言」	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、図書館のバリアフリー宣言をし、様々な場面でPRする。 (124にも掲載しています。)	新規				平成17年度に「豊中市子ども読書活動推進会議 実務担当者会議」で検討した案について、図書館内で広く意見を募った。また、日ごろ音訳などに関わるボランティアの意見を伺い、検討している。平成19年度中に図書館内や図書館ホームページに掲載する予定。	市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
109	絵本などの情報提供	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 〔6、141にも掲載しています。〕	新規				平成18年6月、「豊中市採択の小学校国語の教科書に載っている本」をホームページで紹介。平成19年3月、「赤ちゃん向け絵本の紹介冊子」を図書館ホームページに掲載した。ケーブルテレビでの本の紹介は今年度は未実施。	市立図書館
110	図書館のPR	渡日外国人児童生徒の相談窓口、外国人登録窓口、とよなか国際交流協会などで、多言語の図書館利用案内を配布する	新規				多言語の図書館利用案内の改訂準備中。	人権教育企画課 とよなか国際交流協会 市立図書館 市民課

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
111	市立図書館の外国語資料の充実	関係団体と協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、市立図書館の外国語資料を購入や寄贈によって充実するとともに、岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 〔151にも掲載しています。〕	拡充		購入冊数 所蔵冊数	児童書95冊・ 児童書7,247冊	図書館においては外国語の絵本(95冊)を購入した。現在、市立図書館では外国語児童書7,247冊を所蔵している。また各図書館においては外国語資料のコーナーに岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」の案内をおく等、PRに努めた。今後は関係団体と連携し、外国人市民の意見やニーズを把握し、より多くの言語の資料を受入し、市立図書館の外国語資料の充実をすすめていくことが課題となる。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
112	資料の充実	図書の購入や市立図書館の団体貸出、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。 〔154をご参照ください。〕	継続				ほぼ月1度の動く図書館を活用している。図書の購入がかなり不自由な状況にあることや、実際に多くの図書から自ら選書することのよこび、見たい、読みたい本があるかと思いつさがす時の期待感なども多く、楽しく利用させてもらっている。(刀根山養護学校) 動く図書館を月1回学校に来てもらい、小中高全校の生徒が昼休みに利用している。本校の図書室の本の冊数が少なく、それを補う意味でも役立っている。児童生徒は動く図書館の来る日を楽しみにしている。教員も教材として利用し、活用している。(豊中養護学校)	刀根山養護学校・豊中養護学校
	資料の充実	図書の購入や市立図書館の団体貸し出し、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。 〔154をご参照ください。〕	継続				動く図書館の団体貸出、リサイクル図書を利用することで一定の図書資料の充実を図っている。利用した日はあらかじめ動く図書館に連絡をとり、次回の巡回日に持参していただくなどしている。また、リサイクル本も種類、冊数が増えているので、ほしい本などあらかじめ職員間でチェックしておき、現物があれば提供していただくなど、利用する施設が計画的に行えばかなりの資料充実になると思われる。	しいの実学園
	資料の充実	図書の購入や市立図書館の団体貸し出し、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実する。 〔154をご参照ください。〕	継続				リサイクルは貸し出し図書と違い破損など気にすることがないので、子どもに自由に見せることができ利用度が充実している。今後お願いしたい。動く図書館による図書の貸出は子どもと一緒に本を借りに行くという経験ができた。今後も続けることを希望する。	あゆみ学園
113	資料の充実	図書館が通園施設や養護学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映する。 〔150にも掲載しています。〕	新規				図書館から資料などについての情報提供を受け、学校の資料充実に向けて活用している。今後は選書の参考とするため、ティーン期の少年少女が読む本、その年代の子どもに今人気のある本などの情報が必要である。	刀根山養護学校
	資料の充実	図書館が通園施設や擁護学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映する。 〔150にも掲載しています。〕	新規				選書に反映されるよう、園で活用したい図書名を市立図書館へ情報提供している。	しいの実学園
	資料の充実	図書館が通園施設や養護学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映する。 〔150にも掲載しています。〕	新規	施設数	2箇所		施設や学校で活用される資料の情報交換を教職員と行い、施設ごとの資料に関するニーズを捉えている。そして、移動図書館車の巡回時に積み込む資料に反映して、施設や学校の読書環境の整備につとめている。課題としては施設の職員や保護者が入れ替わる場合があり、継続的に図書館からの情報提供や利用方法の説明を実施する必要がある。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
114	外国語資料の整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。また市立図書館ととよなか国際交流協会が資料の情報を共有し、分担収集をするなど、ともに蔵書の充実を進める。	新規				とよなか国際交流協会では、日本人が外国人とのコミュニケーションをはかるための書籍(指差し会話集)や、日本語を学ぶための雑誌や書籍は蔵書登録が行われ、広く活用されているが、その他の外国語資料や書籍は、まだ十分に整理ができていないので、外国人市民の利用につながっていない。今後、図書館と協会が情報やノウハウを共有し、外国人が地域で暮らしていくために必要な資料や情報が得られるように、蔵書の充実や貸し出し制度について研究していく。	とよなか国際交流協会
	外国語資料の整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。また市立図書館ととよなか国際交流協会が資料の情報を共有し、分担収集をするなど、ともに蔵書の充実を進める。 〔152にも掲載しています。〕	新規				英語以外の外国語で検索することは、現行の図書館システムではまだ課題があるが、簡易な目録を作成しホームページに掲載することなどを検討中。平成18年度、中国語・韓国語以外のアジアの諸言語については簡易な目録を岡町図書館で作成した。	市立図書館
115	団体貸出のPR	関係機関・団体に向けて団体貸出の制度をPRし、冊数や期間など各施設の状況に応じて団体貸出を行う。	継続				留守家庭児童会指導員の研修会、おはなしボランティアの講座で団体貸出制度の説明を実施。その他各種講座などで折に触れ、団体貸出をPRしている。今後も継続してすでに団体貸出を利用している施設についても、団体貸出や図書館が提供できるサービスについて継続的にお知らせすることが必要となる。また特に支援が必要な通園施設や養護学校などについてはニーズを把握し、柔軟に対応していくことが課題となる。	市立図書館
116	排架やサインの見直し	利用者が図書館職員に相談しやすい雰囲気づくりに努め、市立図書館の資料を利用しやすいよう、サインや排架の見直しを行う。	継続				現在4言語ある利用案内の内容を改訂し、さらに多言語の拡充を平成19年度実施に向けて検討中。車椅子やベビーカーでも利用しやすい環境づくりが今後の課題。	市立図書館
117	多言語の利用案内やサインの作成	子ども向けの利用案内やサインなどを多言語で対応できるものにする。	新規				図書館の利用案内や館内表示、カウンターでの意思疎通を図るための指差しコミュニケーションカードを多言語で作成するなど、案内やサインの多言語化を庄内図書館と国際交流協会が連携し、平成19年度に作成予定。	市立図書館 国際交流協会
118	入院中の子どもの読書環境整備	市立豊中病院と市立図書館が連携し、患者用図書などを充実し、入院中の子どもの読書環境を整備する。	継続		病院への団体貸出しの冊数	28冊	「子育て広場開設に伴う図書整備」の資料費により購入した絵本を小児病棟に常設した。また外来の小児科についても、絵本などの資料の整備が必要か、検討の必要がある。	市立豊中病院 市立図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
119	ボランティア活動への支援	録音図書、点字図書や拡大写本など、障害のある子どもに有効なメディアを研究し、製作に携わるボランティアを育成・支援する。	継続		音訳ボランティアフォローアップ講座などの回数参加人数	3回のべ28人	図書館による講座の開催などで研修の場を提供し、ボランティア活動の支援としているが、子どもに有効なメディアの研究や、情報を必要としている障害のある子どものニーズを探ることが今後の課題となる。	市立図書館 ひまわり教育センター
120	おはなしボランティアへの支援	障害のある子どもや入院中の子ども、外国人の子どもに向けておはなし会を行うボランティアに対して市立図書館が図書資料や情報などを提供する。	継続				「おかまち・おやこでにほんご」の活動で利用する絵本や紙芝居の選書や読み聞かせについて助言を行っている。市立豊中病院の小児病棟でおはなし会などを実施している「おはなしたまてばこ」への団体貸出をおこなっている。また病院でのおはなし会を実施しているおはなしグループと小児病棟の看護師、図書館職員が情報交流会を実施した。	市立図書館

子どもに関わる大人への啓発と研修

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	18年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
121	市民向けの啓発事業の実施	市民に向けて、障害のある子どもに対して理解を求める取り組みや啓発を行う。	新規				「子どもと本のつどい」などの機会を利用して講演や展示などの実施を検討中。	市立図書館 通園施設 養護学校
122	職員の研修	障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く状況など、多様な子どもの情報を共有できるよう教職員の研修を行う。	拡充		実施回数	5回	あゆみ・しいの実学園の両園で障害特質についての研修を実施。相互の研修に参加し、それぞれの子どものおかれている状況を学びあった。	通園施設
	職員の研修	障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く状況など、多様な子どもの情報を共有できるよう教職員の研修を行う。	拡充		職員研修の参加人数	人権研修「豊中市第3次障害者長期計画」69人	障害福祉センターひまわりより講師を招き、図書館職員対象に「豊中市第三次障害者長期計画」の概要についての研修を実施した。	市立図書館
123	情報交流と研修	図書館や各施設で行う研修の情報を共有し、研修の機会を広げる。 〔76、163をご参照ください。〕	拡充				図書館で実施する講演会などで、各施設の職員に研修となるような内容の事業については、チラシ、ポスターなどを送付。さらに図書館、施設間相互に情報を交換することが課題となる。	市立図書館